

目次

改訂版 はじめに iii

第1版 はじめに iv

舌 診

I. 舌診の意義と方法 3

A | 舌診の対象 3

B | 舌診の臨床的意義 4

正気の盛衰を判断する／病位の深浅
を弁別する／病邪の性質を区別す
る／病状の進退を推測する

C | 舌の構造 5

D | 舌と臓腑との関係 6

E | 舌診の方法と注意事項 7

光線／姿勢／順序／飲食／季節・時
刻／年齢と体質／刮苔（かったい）・
揩苔（かいたい）

II. 正常の舌象 9

III. 舌質の望診（神・色・形・態） 11

A | 舌神（ぜつしん） 11

B | 舌色（ぜつしよく） 12

1. 淡白舌（たんぱくぜつ） 12

2. 紅舌（こうぜつ） 13

3. 絳舌（こうぜつ）
紅絳舌（こうこうぜつ） 14

4. 紫舌（しぜつ） 16

5. 青舌（せいぜつ） 17

C | 舌形（ぜつけい） 18

1. 老嫩（ろうどん） 18

2. 胖大（はんだい） 19

3. 腫脹（しゅちょう） 20

4. 齒痕（しこん） 21

5. 瘦薄（そうはく） 22

6. 裂紋（れつもん） 23

7. 光滑（こうかつ） 24

8. 点刺 (てんし)	25	2. 痿軟 (いなん)	29
9. 瘀点 (おてん) 瘀斑 (おはん) ..	26	3. 顫動 (せんどう)	30
10. 舌下脈絡 (ぜっかみやくらく) ..	27	4. 歪斜 (わいしゃ)	30
11. 重舌 (じゅうぜつ) 舌衄 (ぜつじく)		5. 吐弄 (とろう)	31
舌癰 (ぜつよう) 舌疔 (ぜつちょう)		6. 短縮 (たんしゆく)	31
舌瘡 (ぜつそう) 舌菌 (ぜつきん)		7. 舌縦 (ぜつじゆう)	32
.....	28	8. 舌麻痺 (ぜつまひ)	32
D 舌態 (ぜつたい)	29		
1. 強硬 (きょうこう)	29		

IV. 舌苔の望診 (色・質)33

A 苔色 (たいしょく)	33	2. 潤燥 (じゅんそう)	40
1. 白苔 (はくたい)	33	滑苔 (かつたい) / 燥苔 (そうたい)	
2. 黄苔 (おうたい)	34	【注】潤燥の仮象	41
3. 灰苔 (かいたい)	36	3. 腐膩 (ふじ)	42
4. 黒苔 (こくたい)	37	膩苔 (じたい) / 腐苔 (ふたい)	
5. 緑苔 (りょくたい)	38	4. 全偏 (ぜんへん)	46
6. 黴醬苔 (ばいしょうたい)	38	全苔 (ぜんたい) / 偏苔 (へんたい)	
【注】苔色について	38	5. 剝落 (はくらく)	48
B 苔質 (たいしつ)	39	光剝苔 (こうはくたい) / 花剝苔 (かはくたい)	
1. 薄厚 (はくこう)	39	はくたい) / 類剝苔 (るいはくたい)	
薄苔 (はくたい) / 厚苔 (こうたい)		6. 消長 (しょうちょう)	50
		7. 眞仮 (しんか)	51

V. 舌質・舌苔の総合判断53

VI. 舌診の注意点57

[1] 舌象と症候が符合しない原因 ..	57	[2] 弁証上の基本的な考え方	58
----------------------	----	-----------------------	----

脈 診

I. 脈診の意義と方法……………61

- A 脈象の成り立ち …………… 61
- B 脈診の臨床的意義 …………… 62
 邪正の盛衰を判断する／病変の性質を反映する／病位の深淺を弁別する／病變の進退と予後を判断する
- C 脈診の部位 …………… 63
- D 脈診の方法と注意事項…………… 65
 遍診法／三部診法／寸口診法
 時刻／体位／指法／挙・按・尋／平息／五十動
- E 脈波図と圧脈波による脈象のイメージ化 …………… 67

II. 平 脈 ……………69

- 1) 胃・神・根 …………… 70
 胃／神／根
- 2) 生理的な変動 …………… 71
 季節・気候／地理的環境／性別／年齢／体格／精神情緒／劳逸／飲食／特殊な脈／脈の畸型

III. 病 脈 ……………73

- A 病脈とは…………… 73
- B 脈位の異常 …………… 74
1. 浮脈（ふみやく）…………… 74
 表証／虚証（陰液不足）
 【注】表証と虚証の浮脈の違い…………… 75
2. 沈脈（ちんみやく）…………… 76
 裏実／裏虚（陽氣不足）
 【注】裏実と裏虚の沈脈の違い…………… 76
3. 伏脈（ふくみやく）…………… 77
 邪閉・痛極／厥証
- C 至数の異常 …………… 78
1. 遲脈（ちみやく）…………… 78
 寒積（実寒）／陽虚（虚寒）／陽明腑実（実熱）
2. 緩脈（かんみやく）…………… 78
 湿病／脾胃虚弱／平脈
3. 数脈（さくみやく）…………… 78
 実熱／虚熱／虚陽浮越
4. 疾脈（じつみやく）…………… 79
- D 脈力の異常 …………… 80
1. 虚脈（きょみやく）…………… 80
2. 実脈（じつみやく）…………… 81
 【注】虚脈と実脈の違い…………… 81
- E 脈の太さの異常 …………… 82
1. 細脈（さいみやく）…………… 82
 氣血兩虚／諸虚勞損／湿病
2. 洪脈（こうみやく）…………… 82
 氣分熱盛／邪盛正衰
3. 大脈（だいみやく）…………… 84
- F 血管緊張度の異常 …………… 85
1. 弦脈（げんみやく）…………… 85
 肝胆病／諸痛・痰飲・瘧疾／その他

2. 緊脈 (きんみやく) ……………	87	気血不足/湿証	
実寒/激痛・宿食			
【注】弦脈と緊脈の違い ……………	87	◆危急の脈……………	98
G 脈の長さの異常 ……………	88	1. 散脈 (さんみやく) ……………	98
1. 長脈 (ちょうみやく) ……………	88	2. 微脈 (びみやく) ……………	98
正常脈/肝陽有余・陽盛内熱		◆中空の脈……………	99
2. 短脈 (たんみやく) ……………	88	1. 芤脈 (こうみやく) ……………	99
気虚/気鬱		2. 革脈 (かくみやく) ……………	100
H 血流状態の異常 ……………	89	◆有力な脈……………	100
1. 滑脈 (かつみやく) ……………	89	1. 動脈 (どうみやく) ……………	100
痰飲・食滞・実熱/正常脈/妊娠脈		痛・驚/その他	
2. 洪脈 (じゅうみやく) ……………	90	2. 牢脈 (ろうみやく) ……………	101
傷精・血少/気滞血瘀・挾痰・挾食		陰寒内実・疝気・癥瘕/危象	
I 調律の異常 ……………	92	脈象の特徴と臨床的意義 ……………	102
1. 促脈 (そくみやく) ……………	92	K 相兼脈……………	104
陽盛実熱の気滞・血瘀・痰飲・宿食・		浮緊脈 (ふきんみやく) ……………	104
癰腫/虚脱		浮緩脈 (ふかんみやく) ……………	104
2. 結脈 (けつみやく) ……………	92	浮数脈 (ふさくみやく) ……………	104
陰盛気結・寒痰・血瘀/陽虚		浮滑脈 (ふかつみやく) ……………	104
3. 代脈 (たいみやく) ……………	93	沈細脈 (ちんさいみやく) ……………	104
臟気衰微/風証・痛証・七情驚恐・		沈緩脈 (ちんかんみやく) ……………	104
跌打損傷/正常脈		沈弦脈 (ちんげんみやく) ……………	104
【注】現代医学的「不整脈」との違い	94	沈遲脈 (ちんちみやく) ……………	104
J 複合脈……………	96	沈洪脈 (ちんじゅうみやく) ……………	105
◆虚の脈……………	96	弦細脈 (げんさいみやく) ……………	105
1. 濡脈 (じゅみやく) ……………	96	弦数脈 (げんさくみやく) ……………	105
諸虚/湿証		滑数脈 (かつさくみやく) ……………	105
2. 弱脈 (じゃくみやく) ……………	98	弦滑数脈 (げんかつさくみやく) ……………	105
		洪数脈 (こうさくみやく) ……………	105
		細数脈 (さいさくみやく) ……………	105

IV. 脈診の注意点 …………… 107

[1] 脈象と陰陽 ……………	107	[2] 脈と症候の順逆 ……………	108
脈の浮沈/脈の遅数/脈象の転変/		[3] 捨脈従症・捨症従脈 ……………	109
陽脈と陰脈			